

[大佛次郎記念館]
平成 30 年度業務計画及び収支予算
[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業。○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標。■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	大佛次郎記念館
所在地	横浜市中区山手町 113 番地 港の見える丘公園内
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上 2 階 地下 2 階建
敷地・延床面積	建築面積 593.13㎡ 延床面積 1,166.30㎡
開館日	昭和53年5月1日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 番地
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで 5 年間

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

<p>日本を代表する知識人であり作家である大佛次郎の記念館として、資料の適切な収集、保管、公開、活用を通じ、作家と作品を後世に伝えます。またこのような個人文学館としての使命を維持しつつ、</p> <p>①近隣の学校や文化観光局、中区役所、教育委員会、図書館などと連携し、広く市民の読書活動や文芸の発展に寄与すること</p> <p>②地域連携や市民協働により、記念館及び記念館で行われるあらゆる活動を支えていただける関係を地域や市民との間に構築すること</p> <p>③観光地であるという立地の特徴を踏まえ、大佛の愛した「猫」関連の企画や、スタンプラリー等コンテンツツールの推進、建物の特長を活かした撮影誘致等、様々な参加者、利用者呼び込み、地域のにぎわいと活気を創出すること</p> <p>④オープンデータやデジタルアーカイブに関する潮流を捉え、ICTを活用した情報の集積・提供サービスの向上に資する事業や取組みを実施すること</p>

等を通じ、専門家、市民、観光来訪者等さまざまな方々が利用し、集い、学び、楽しむことができる「新しい文学館像」を模索、実現します。

(2) 30年度の業務の方針及び達成目標

- ・指定管理者制度導入初年度の28年度、大佛次郎生誕120年の記念年である29年度における計画及び執行について、文化観光局とも十分な振り返りを行い、反省すべき点があれば、30年度において改善を図り、トータル5年での目標達成、さらにはそれ以降の、文学愛好家だけでなく幅広くさまざまな方々に愛される記念館像を見据えて、取り組んでいきます。
- ・大佛次郎の人物、作品の魅力を後世に伝えるというミッションと、「新しい文学館像」を実現していくため、指定管理提案に則った事業を実施します。平成30年度は、5月1日に開館40周年を迎えます。29年度の大佛次郎生誕120年に続いて、2年連続での記念年となります。大佛次郎の魅力に加えて、記念館のこれまで歩んで来た道や建物自体の魅力を発信するような事業を実施していきます。
- ・28年度、29年度で築いた、文化観光局との強固なパートナーシップや、大佛次郎研究会、各出版社、ティールーム霧笛、山手西洋館、公園管理事務所、元町SS会、ホテル等の観光施設、近隣学校等、各関係先との「顔の見える関係」を引き続き継承していきます。
- ・職員の説明力を鍛え、各業務における成果や公益的意義について説明責任を果たします。
- ・コンプライアンスと収支管理を徹底し、安定した経営を実現します。

4 業務の取組と達成指標

(1) 文化事業について

ア 作品、旧蔵資料及び関連資料の収集、保存及び展示公開

[取組内容]	[達成指標]
<p>・資料収集</p> <p>●大佛次郎関連資料の寄贈を随時受け付けるとともに、情報収集に努め、適切な収集を行います。</p> <p>・資料保存</p> <p>●貴重な資料の管理や保護に注力し、自筆原稿等特に貴重な資料の管理に細心の注意を払います。所蔵資料を後世に継承するため、資料の劣化を防ぎ良好な状態を保ちます。温湿度管理の徹底と中性紙箱に収める等の方法で資料の保全を行います。</p> <p>●専門的な観点から収蔵資料の整理を行い、収蔵品展等に活用します。</p> <p>・展示公開</p> <p>●常設展（収蔵品展） 「大佛次郎の生涯と作品」にスポットを当てた収</p>	<p>■目標：おさらぎ選書「資料収集」欄への掲載</p> <p><input type="checkbox"/> 毎日2回の点検、記録、調整の実施</p> <p>■特別書庫内使用の出入庫表への記録</p> <p><input type="checkbox"/> 年1回の燻蒸</p> <p><input type="checkbox"/> 月1回の資料整理</p> <p>■必要な資料の修復の実施</p> <p>■年間を通じて順次展示替えを実施</p> <p>■年3回の企画展に合わせて内容の見直し。</p>

<p>蔵品展を展示室で実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●愛蔵品展示コーナー 大佛次郎の交友関係に焦点をあて、関係する旧蔵資料等を愛蔵品展として記念室前展示コーナーで展示します。 ●1階ロビー展示 年表パネル・写真パネルの展示 ・展示以外の資料公開 ●閲覧室での図書閲覧 ●「おさらぎ選書」に収蔵資料の一部内容を掲載。 ●収蔵資料のデータベース化を進め、ホームページ上で公表します。 ●的確なレファレンスサービスを提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> □年1回の展示替えの実施 ■展示替えの実施：随時交換 ■閲覧室での図書閲覧を実施します。 ■「おさらぎ選書」に収蔵資料の一部内容を掲載します。 □ホームページ上で新規に公表するデータ数：400件以上 □レファレンスサービス件数：年間50回以上
---	--

イ 作品及び大佛次郎に関する調査研究及び情報の集積

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大佛次郎の作品等に関する調査研究成果を展示、出版、講座・講演等により、社会へ還元します。 ●テーマ展示の実施 ・テーマ(企画)展示 (関連講演・講座等の開催、財団運営施設等の主催講座への出張含む) ●テーマ展示 I 大佛次郎記念館開館40周年記念 「大佛次郎記念館の40年 1978～2018」 ・大佛次郎記念館開館40周年を記念し、大佛次郎の著作と生涯、そして記念館の開館までを振り返り、記念館の歴史を紹介します。 ・記念館で行なったこれまでの展示を紹介し、大佛次郎と記念館所蔵コレクションの多面的な魅力に迫ります。 ・ターゲット：大佛次郎の愛読者、記念館の展示、活動や建物に興味のある方。 ・期間：3月15日(木)～7月8日(日) 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □テーマ(企画)展示の実施：3回 □観覧者目標：16,500人 (H25実績 13,590人、H26実績 14,732人、H27実績 14,904人、H28実績 20,563人) □観覧者目標数：6,200人 ■大佛次郎記念館開館40周年記念公募展示パネル「私の好きな大佛次郎の一文」：期間中に公開 ■大佛次郎記念館40周年記念日の実施 5月1日(火)～5月3日(木・祝)の3日間を無料入館デーとし、来館者の皆さま方と開館40年をお祝いします。 ■6月9日(土)～6月10日(日)収蔵品を和室にて特別公開 □展示解説：各月第2土曜日に実施 □大佛次郎記念館<ミニ・トーク>～建築の魅力
---	---

<p>●テーマ展示Ⅱ 大佛次郎記念館開館 40 周年記念 「大佛次郎とスポーツ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019 年ラグビーW杯、2020 年東京オリンピックを目前に、野球・ヨット・テニス・スキー・ゴルフなど、若き頃から晩年に至るまで大佛次郎が愛した、さまざまなスポーツに焦点をあてます。 ・ターゲット：夏休みのファミリー層、スポーツ愛好者、観光客などあらゆる層 ・期間：7 月 14 日（土）～11 月 11 日（日） <p>●テーマ展示Ⅲ 大佛次郎記念館開館 40 周年記念・明治 150 年記念 「天皇の世紀」—取材旅行が語るもの」（仮）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治 150 年、「天皇の世紀」50 年を記念し、大佛次郎が訪れた取材旅行での足取りをたどりつつ、大佛次郎の歴史の見方、紡ぎ方にせまります。 ・ターゲット：日本文学愛好者、歴史愛好者、史跡等に興味のある旅行愛好者 ・期間：11 月 17 日（土）～平成 31 年 3 月 10 日（日） <p>●おさらぎ選書の発行 「おさらぎ選書」第 26 集を発行します。また、31 年度の第 27 集発行に向け、編集、執筆及び執筆依頼を行います。</p> <p>●所蔵資料を用いた書籍・論文等の活用 （書籍の閲覧室での公開、受付での販売の実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の集積と発信 <p>●一般紙誌の掲載につながる話題を積極的にリリース（新収蔵、初公開などの情報を発信）</p>	<p>発見～>：期間中 4 回実施</p> <p>□観覧者目標数：5,400 人</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「スポーツ」を通じ幅広い層への認知度アップを図る。 ■展示解説：各月第 2 土曜日に実施 <p>□観覧目標数：4,900 人</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「おさらぎ選書」第 26 集の資料紹介と連動した展示内容とします。 ■展示解説：各月第 2 土曜日に実施 ■関連事業として講演会実施（予定） <p>■「おさらぎ選書」第 26 集では、「大佛次郎『天皇の世紀』再考」と題し、論文「大佛次郎『天皇の世紀』を読む（仮）」「大佛次郎の『天皇の世紀』取材旅行（仮）」、及び「『天皇の世紀』取材旅行の旅程（仮）」等を掲載します。 発行予定年月：平成 30 年 11 月中</p> <p>■29 年度に制作、販売を実施したミニ冊子「鎌倉通信」を、引き続き販売します。</p> <p>□テーマ展を中心に記者発表を実施する。： 年 3 回以上</p> <p>□財団発信の P R T I M E S を活用し、ウェブでの掲載機会を増やします。発信回数： 年 5 回以上</p>
---	--

<ul style="list-style-type: none"> ●ウェブ紹介による来館の動機づけ ●ホームページの充実や、ブログや SNS を用いたタイムリーな発信 	<ul style="list-style-type: none"> ■Facebook、Twitter を使った積極的な SNS 発信を行います。 □公式ホームページ情報更新回数：月 3 回以上 □公式ブログ更新回数：月 5 回 □Facebook、Twitter での発信回数：毎月 5 回 ■公園内の話題（季節イベントや花の話題等）や、山手西洋館の行事や、公園内でのウエディング撮影にも積極的に言及します。
---	---

ウ 各種文化的行事の実施

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種文化的行事の実施 各種文化的行事を実施し、大佛次郎及び作品の普及啓発を行います。 ●大佛次郎文学散歩 テーマ展Ⅱ関連事業：「大佛次郎とスポーツ」をテーマにした内容で実施 ●「大佛次郎賞受賞記念講演会」 朝日新聞社との共同主催。 ●大佛次郎研究会公開発表会 ●その他 大佛次郎記念館開館 40 周年記念「特別展示@和室」の実施（再掲）6 月 9 日（土）～6 月 10 日（日） ・施設及び山手エリアの活性化 ●和室公開 春の桜、晩秋の紅葉の時期のうち、貸館としての利用のっていない日に限って、和室を公開し、来館者に窓から眺められる景色を楽しんでいただきます。大佛もしくは記念館の魅力が伝わる展示等を行い、部屋の魅力をアピールします。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □大佛次郎文学散歩 年 1 回 □参加者数 20 人 □年 1 回（3 月予定） □参加者 240 人 ■横浜市開港記念会館講堂での開催 ■大佛次郎研究会に対し、「覚書」に則り会議室の利用、選書への論文掲載等の便宜を図ります。 ■年 2 回開催される研究会公開発表会を共催し、活動を支援します。 ■収蔵品の中から佐多芳郎筆の日本画数点などを和室にて特別公開 □実施回数 年 2 回 □将来的な貸館利用率向上に繋がるように、和室の魅力をアピールします。 和室から見える景色（桜・紅葉）をブログとツイッターを通じて発信する。（年 4 回）
---	--

<ul style="list-style-type: none"> ・春 平成 30 年 3 月下旬-4 月上旬（予定）のうち、貸館利用の無い日限定 ・秋 11 月下旬-12 月上旬（予定）のうち、貸館利用の無い日限定 ●大佛茶亭公開 鎌倉風致保存会主催の鎌倉市雪ノ下にある「大佛茶亭」の公開に合わせて、書籍、グッズ販売等を行います。春 4 月 7 日（土）、秋 10 月 6 日（土） ・子ども対象事業を実施します。 ●小学生ミニ・ビブリオバトル 本好きだった大佛次郎のスピリットを伝えるとともに、読書全般に対する振興事業として、ミニ・ビブリオバトルを実施します。 ○夏休み子どもアドベンチャー 市教委主催の夏休み子どもアドベンチャーに参加し、子どもたち及び保護者の入館を促進します。（よみきかせ、ねこを描こう） ●感想画展、館内クイズラリーなど、平成 28 年度からの小中学生無料化に伴い、親子での来館を促す企画を実施します。 ○神奈川県博物館協会主催のミュージアム・ミッションに参加し、来館者増を図ります。 ・観光客や新規来館者を呼びこむ企画 ○「大佛次郎×ねこ写真展 2019」企画の実施 大佛次郎の愛した猫を切り口に、新たな来館者層を開拓します。（2 月～4 月上旬開催予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ■会場で書籍、グッズ販売を実施、施設の紹介も行います。 ■テーマ展示毎に茶亭の展示コーナーを展示替えます。 昨年度に引き続き第 6 回ミニ・ビブリオバトルを実施します。 <input type="checkbox"/>年 1 回開催 <input type="checkbox"/>年 1 回開催（8 月中の 2 日間） <input type="checkbox"/>参加者目標：28 人（各日 2 回開催、定員 10 名） <input type="checkbox"/>年 1 回実施 夏休み子どもアドベンチャーとして実施予定（再掲） ■ミュージアム・ミッション 2018 に参加します。 <input type="checkbox"/>参加者目標：300 人 ■恒例行事化を目指し、3 回目の実施。 <input type="checkbox"/>会議室での展示事業として年 1 回実施 <input type="checkbox"/>入館者目標：3,500 名
--	--

エ 施設の有効活用及び文化団体等への活動の場の提供

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念館の雰囲気や建物の魅力を生かした利用の誘致を行います。 ●茶会（学校茶道部）の利用促進を行います。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■学校茶道部への広報の実施 ■利用案内の送付
---	---

<p>・会議室、和室の利用促進 建物の魅力を活かした撮影利用や、展示利用等を誘致します。</p> <p>●ウェディング撮影</p> <p>●ドレス撮影</p> <p>●学校等の利用促進 (ボランティアへの会議室の減免提供、小学生ミニ・ビブリオバトル参加校への会場としてのサロン提供)</p> <p>●研究団体への場の提供 (大佛次郎研究会、フランス経済史研究会の活動支援)</p> <p>●市民団体への場の提供 (天皇の世紀を読む会の活動支援)</p> <p>●その他</p> <p>・リピート利用に向けた方策</p> <p>●和室、会議室での附帯設備導入等による利便性向上</p> <p>●会議室での自主事業の実施</p> <p>●会議室の利用者の意見を聞き設備面・サービス内</p>	<p>■ウェディング撮影を近隣のホテルや結婚式場と連携して誘致を推進します。 公園内でのウェディング撮影にも積極的に言及します。(再掲)</p> <p>■ホームページやSNSを活用しての広報の実施</p> <p>□ドレス撮影会等、商業撮影の誘致： 年5回以上</p> <p>□小学校内ミニ・ビブリオバトルの会場利用： 1校</p> <p>■大佛次郎研究会発表会を共催します</p> <p>■メンバー募集広報協力をします。</p> <p>■撮影等、特徴ある利用実績を記録し、アピールに使います。</p> <p>■主催または共催で、会議室の連続利用につながる展示事業を開催します。</p> <p>■大佛次郎記念館<ミニ・トーク～建築の魅力発見～>の実施(再掲)</p> <p>■附帯設備を充実します。</p> <p>■「大佛次郎×ねこ写真展2019」を実施します。年1回実施(再掲)</p> <p>■改善を実施し、実績をホームページやSNSを</p>
---	---

<p>容等を改善。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ホームページでの情報提供。 <p>・ ティールーム霧笛との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 相互割引の継続実施及び団体利用客への霧笛紹介。 <ul style="list-style-type: none"> ● 記念館活性化プロジェクトで開発されたメニューの継続販売。 <ul style="list-style-type: none"> ● 広報協力 (当館広報物への情報掲載等の実施、企画との連携メニュー等の相互の活性に向けた協議) 	<p>通じ発信します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 昨年度ホームページに開設した「和室・会議室空き状況」ページを円滑に運営します。 ■ 大佛次郎記念館くミニ・トーク～建築の魅力発見～>の実施（再掲） ■ チケット半券ーレシートの提示による相互割引を継続します。また団体客や貸館利用者へティールームの利用を呼びかけます。 ■ 夏季限定で大佛フラッペの提供を継続します。 ■ ホームページでの情報掲載を継続します。
---	--

オ 市民協働及び地域とのネットワーク構築

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 近隣教育機関との連携 <p>・ 近隣施設等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 横浜山手芸術祭への参加 横浜山手西洋館ユースギャラリーの会場として、親子の来館を促進します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 山手西洋館（横浜市緑の協会）との連携 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 近隣小学校等とは、チラシ配布、ポスター掲示等で日常的な協力関係を築くとともに、小学生ミニ・ビブリオバトル等の子ども対象事業への参加を呼びかけます。 □ 横浜山手西洋館ユースギャラリーの実施： 年1回 横浜山手西洋館ユースギャラリーの会場として、市立北方小学校児童作品を会議室に展示します。 ・ 期間 平成31年2月（約10日間）の予定 ■ 山手西洋館ハロウィンウォークへの参加 ハロウィンウォークは、大佛次郎記念館に日頃馴染みのない層への周知機会ととらえて参加します。 □ 山手通信への情報掲載 年6回
---	--

<p>● 県立神奈川近代文学館との連携</p> <p>・ 近隣商店街等との連携</p> <p>● 元町商店街（元町 SS 会）、横浜高速鉄道（株）、ホテルニューグランド、霧笛楼等と連携します。（近隣商店街等とのつながりを大切にし、関係性を深めます。）</p> <p>● ポンパドウルに、大佛次郎記念館活性化プロジェクトから生まれた商品の販売継続を働きかけます。</p> <p>● ポンパドウルとポスターの相互掲示を継続</p> <p>● 元町商店街と広報連携について協議</p> <p>● 横浜高速鉄道株式会社との連携</p> <p>● ホテルニューグランドの大佛次郎ゆかりの「天狗の間」宿泊プランの継続を働きかけます。</p> <p>● その他連携</p> <p>● 研究者団体等の文化活動への場の提供</p> <p>● 財団他施設との連携</p> <p>・ 市民協働</p> <p>● NPO 法人横浜シティガイド協会との連携</p>	<p>■ 大佛次郎生誕 120 年のときに築いた協力関係を維持し、観覧者の相互割引を継続します。</p> <p>■ ポスター掲示や商品提供等のご協賛を依頼します。</p> <p>■ 冬季限定パン「ピコンリキュールのごほうびサバラン」の継続販売を働きかけます。</p> <p>■ ポスターの掲示を依頼し、当館においてもポスター掲示で協力関係を維持します。</p> <p>■ ホームページでの相互リンク設置 29 年度にホームページに相互リンクを設置しており、広報協力を継続します。</p> <p>■ 駅構内でのポスター掲示の実施</p> <p>■ みなとぶらりチケット等の団体割引適用</p> <p>■ 宿泊プランの継続を働きかけます。</p> <p>■ 霧笛楼でのチラシ配架 テーマ展示のチラシ配架の依頼を働きかけます。</p> <p>■ 大佛次郎研究会及びフランス経済史研究会との施設及び資料利用に関する協定関係を継続します。</p> <p>■ 記念館内でサロンコンサートを実施し、新たな顧客層の開拓につなげます。</p> <p>■ 記念館へのツアー促進のために、協力関係を模索します。</p>
---	--

<p>● 記念館ボランティア 展示作業、イベント開催のお手伝いをいただきます</p>	<p>■ ボランティアメンバーの拡充を図ります。</p>
--	------------------------------

カ 広報・プロモーション活動等の推進

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来からの広報よこはま、地域のタウン誌、新聞紙面等による広報活動を継続します。また SNS 等を活用したプロモーション活動を行います。 ● 年間スケジュールチラシの配布 ● 山手通信への情報提供 ● イベントちらしの作成 (年 3 回、各回 8,000 枚以上) ● アートナビへの掲載 ● 新聞等掲載 (市政記者発表、広報よこはま中区版への情報掲載依頼、タウンニュース中区・西区版への情報提供の実施) ● 大佛次郎及び記念館紹介ビデオの放映 ● ホームページを通じた情報発信及び SNS を活用したプロモーションの実施 (ホームページ、ブログ、Facebook、Twitter、ヨコハマ・アートナビ、ヨコハマ・コードモアートナビ等を活用) ● CATV での情報発信 CATV 局やその他 TV 局と連携して、企画展等の情報を発信します。 ● その他の工夫 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 3 か月スケジュールの発行：年 4 回 <input type="checkbox"/> 山手通信への情報掲載 年 6 回 (再掲) <input type="checkbox"/> 年 3 回、各回 8,000 枚以上 <input type="checkbox"/> 年 3 回 (7 月、11 月、3 月) 全号に情報を提供 <input type="checkbox"/> テーマ展を中心に記者発表を実施する。：年 3 回以上 (再掲) ■ 28 年度に作成した紹介ビデオを、引き続きエントランスにおいて放映し、入館者増につなげます。 ■ 28 年度に開設した和室、会議室の利用状況・空き状況のページを、引き続き円滑に更新します。 <input type="checkbox"/> ホームページ情報更新 月 3 回以上 (再掲) <input type="checkbox"/> ブログ更新回数：月 5 回 (再掲) <input type="checkbox"/> Facebook、Twitter での発信：各月 5 回 (再掲) <input type="checkbox"/> CATV 等 TV 局からの情報発信：年 3 回以上 ■ テーマ展示 I に合わせ、YouTube を利用した音声案内を本格稼働します。
---	---

キ 後世に継承するための記念館の活性化

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大佛次郎作品の刊行協力等、大佛作品を読める環境整備 ○大佛次郎自著や関連書籍の販売協力 ●その他 ・フランス関連資料の活用 ●企画展や常設内展示コーナーで等での展示 ●横浜フランス月間への参加 ・若者の来館促進 ○スタンプラリー等参加 ●「大佛次郎記念館活性化プロジェクト」成果継承活性化プロジェクトアイデアを活用して、記念館の魅力アップを図ります。 ●子どもたちが記念館に集う取組 ●記念館オリジナルキャラクター「くらまくん」の露出による記念館のイメージアップ ●スタッフの展示案内によるリピーターの確保 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■28年度末、小学館刊行の「500匹と暮らした文豪 大佛次郎と猫」をはじめとする大佛次郎自著や関連書籍の販売協力を行い、普及に努めます。 ■単行本未収録の作品の刊行や絶版本の復刊を出版社に働きかけます。また所蔵資料を活用した出版も併せて働きかけます ■收藏品展で展示活用します。 □1930年代フランス映画関連の雑誌のミニ展示を開催（予定） ■キャンペーンイベント等のスタンプラリー拠点に参加し、若い世代の来館を促します。（29年度実施例：ミュージアムクイズラリー） ■ポンパドウルに、冬季限定パン「ピコンリキュールのごほうびサバラン」の販売を、ティールーム霧笛に、夏季限定で大佛フラッペの販売継続を依頼します。（再掲） ■28年度から実施された、小中学生入館料無料化の周知と、夏休み子どもアドベンチャーや小学生ミニ・ビブリオバトル、「大佛次郎×ねこ写真展 2019」などの親子の来館を促進する企画により、入館者増を図ります。 ■29年度よりP&D文庫の「鞍馬天狗シリーズ」復刊を記念したキャンペーン（くらまくん缶バッジプレゼント）を継続します。 □団体入館者に対する解説：年40回以上
---	---

<ul style="list-style-type: none"> ●愛猫家の側面に着目した、猫を活かした企画展開 ●収入増及び健全な財務体質の実現に向け、個別事業評価システムによる自己評価、文学懇話会（会員構成：メディア・有識者等・市）の意見、年次評価等を活用したPDCAサイクルの構築 ●その他 	<ul style="list-style-type: none"> ■「大佛次郎×ねこ写真展 2019」の実施、及び恒例化 ■個別事業評価システムによる自己評価の実施 ■文学懇話会開催予定日：6月22日（金）、11月30日（金） ■年次評価の実施（自己評価、行政評価、外部評価） ■29年度に作成したミニ冊子「鎌倉通信」を引き続き販売します。 ■大佛次郎記念館開館40周年記念デー」（再掲）
---	--

(2) 施設運営について

ア 観覧及び市民・市民団体の教養活動のための施設の提供

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●観覧施設の提供 ●和室及び会議室の積極的な貸出、レファレンス対応 (広報協力、感想・ご意見の収集、ホームページでの空き状況情報提供サービス等によるリピート利用促進等) ●入館者数の増 	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/>開館について</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">開館日数</td> <td style="text-align: center;">295日</td> </tr> <tr> <td>営業時間</td> <td>(4～9月)10時～17時30分(最終入館：17時) (10～3月)10時～17時(最終入館：16時30分)</td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/>利用料金について（利用料）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">10時～12時30分</th> <th style="text-align: center;">13時～17時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">和室</td> <td style="text-align: center;">5,000円</td> <td style="text-align: center;">8,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">会議室</td> <td style="text-align: center;">2,500円</td> <td style="text-align: center;">4,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/>レファレンスサービス：年間 50件</p> <p><input type="checkbox"/>目標利用率 和室 30%（日）、会議室 33%（日）</p> <p><input type="checkbox"/>入館料について</p> <p style="padding-left: 20px;">大人（高校生以上） 200円（団体料金 150円）</p> <p style="padding-left: 20px;">小中学生 無料</p> <p><input type="checkbox"/>年間入館者目標：19,000人、一日の入館者目標：64人 (実績：H25 15,770人 H26 16,680人 H27 17,036人 H28 22,507人)</p>	開館日数	295日	営業時間	(4～9月)10時～17時30分(最終入館：17時) (10～3月)10時～17時(最終入館：16時30分)		10時～12時30分	13時～17時	和室	5,000円	8,000円	会議室	2,500円	4,000円
開館日数	295日													
営業時間	(4～9月)10時～17時30分(最終入館：17時) (10～3月)10時～17時(最終入館：16時30分)													
	10時～12時30分	13時～17時												
和室	5,000円	8,000円												
会議室	2,500円	4,000円												

イ 利用者ニーズの把握及び利用者サービスの向上、アイデアノウハウの一層の活用

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設貸出の御案内、撮影等の貸出利用案内強化に 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■メルマガ登録者を増加させるためのキャンペ
---	---

<p>よる利用促進 (貸出施設の案内、ホームページへの撮影等の利用案内の掲載等)</p> <p>●アンケート等による利用者ニーズの把握 (和室無料公開の継続、会議室の学校関係の利用の促進、利用者へのアンケート及びインタビュー調査等の実施等)</p> <p>●要望・苦情への対応 (要望・苦情の館内・財団・市との適切な共有と対応)</p> <p>●案内・説明表示の外国語表記対応</p> <p>●展示解説や団体向け解説を実施します。(再掲)</p> <p>●施設の魅力向上</p> <p>・オリジナル商品の開発及び図書の販売 (話題性のある商品の開発・販売、一般書店では手に入りにくい図書類の販売、文庫本へのオリジナルカバー付加、通販対応の継続とホームページでのPRの実施)</p> <p>●エントランスでの利用促進及びサービス向上の取組(大佛次郎の愛用品展示、大佛次郎の紹介映像の放映)(再掲)</p>	<p>ーンを実施します。</p> <p>■来場者に対するアンケートを実施します。月毎の集計を行い、館内スタッフに迅速なフィードバックを行います。</p> <p>■改善事例は、ホームページ、SNS等で情報発信します。</p> <p>■アンケートや対面でのご意見は、即時対応が可能なものは敏速に対応します。そうでないものでも、館内、財団、市と共有し、解決策について協議します。</p> <p>■案内パンフレットの英語版：外国からの入館者に積極的に配布します</p> <p>□団体入館者に対する解説：年40回以上(再掲)</p> <p>■解説時に、対話によりお客様のニーズを把握します。</p> <p>■施設の魅力を向上させるため、調度品類を修繕・更新します。随時実施</p> <p>大佛次郎記念館オリジナルグッズを展開し、積極的に販促します。</p> <p>□新規グッズ開発：1アイテム以上 図書の販売を継続します。</p> <p>■小学館より刊行の「大佛次郎と猫」の販売メリットを享受するため積極的に宣伝します。</p> <p>■大佛次郎の個人文学館として、現在では一般の書店で手に入りにくい図書類を販売します。</p> <p>■紹介映像への注目を誘う表示や、商品のショーケースでの展示内容を検討します。</p>
---	---

ウ 組織的な施設運営

<p>[取組内容]</p> <p>●適切な運営組織体制と人材の配置 最少人数での最大効果を求め、情報の共有化、迅速な意思確認を徹底します。</p> <p>・文学館の専門性、公共の施設として適切な人員を配置し、職員の能力向上のため、研修を実施します。(OJT、MBO、財団・市実施の研修、外部研修への参加)</p> <p>●事務室、研究室共通 業務に必要な資格取得に向けたバックアップを行います。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>① <input type="checkbox"/>人材の配置について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>0人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>3人</td> <td>事務室1、研究室2</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>2人</td> <td>事務室1、研究室1</td> </tr> <tr> <td>業務委託</td> <td>2人</td> <td>月4回以上</td> </tr> <tr> <td>カルチャースタッフ</td> <td>4人</td> <td>受け付け窓口</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/>館内会議の実施 研究室会議：月1回、合同会議：月1回 企画会議：月1回</p> <p>■業務として必要な専門知識向上や資格取得のため、費用対効果も見極めながら、積極的な受講・取得を推進します。</p> <p>■研究室は展覧会の企画立案、資料等の研究・整理等の能力を有する職員を配置します。</p> <p>■全国文学館協議会会議に参加し、文学館同士の情報共有・連携強化を行います。</p>	項目	人数	備考	館長	1人		副館長	0人		職員	3人	事務室1、研究室2	アルバイト	2人	事務室1、研究室1	業務委託	2人	月4回以上	カルチャースタッフ	4人	受け付け窓口
項目	人数	備考																				
館長	1人																					
副館長	0人																					
職員	3人	事務室1、研究室2																				
アルバイト	2人	事務室1、研究室1																				
業務委託	2人	月4回以上																				
カルチャースタッフ	4人	受け付け窓口																				

エ 個人情報保護等、本市の重要施策を踏まえた取組

<p>[取組内容]</p> <p>・個人情報保護・情報公開、環境への配慮、市内中小企業優先発注等の取組の実施</p> <p>●個人情報保護 (個人情報取扱マニュアルの作成と年1回以上の改定・見直し及び職場内研修の実施、個人情報の適切な取り扱いによる事故防止)</p> <p>●情報公開</p> <p>●人権尊重 (横浜市主催の人権講演会への職員の参加、職場内研修の実施、受付職員を対象とした接遇研修の毎</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■個人情報漏洩などに関する事故：0件</p> <p>■業務計画書、報告書のホームページでの公開：実施 PDFのダウンロードを可能とします。</p> <p><input type="checkbox"/>研修の実施(年1回)</p>
---	--

<p>年度の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●省エネルギー・節電 (節電への取組、クールビズ及びウォームビズの実施と来館者への取組周知) ●ごみ (「ヨコハマ3R夢プラン」に基づく取組の実施、ごみの軽減化の取組、印刷・コピーの適切な節制、文書の適切な処分) ●市内中小企業優先発注 (特別な専門性が必要な契約等を除く発注の市内中小企業への優先) 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>契約の見直しによる金額の前年度比マイナスを目指します。 <input type="checkbox"/>印刷・コピーの裏紙利用による古紙の減量化 <input type="checkbox"/>裏紙利用の啓蒙と裏紙ストック箱の設置 <input type="checkbox"/>ゴミ減量を視野にいたした展示方法を模索します。 ■特別な専門性が必要な契約等を除く発注については、市内中小企業への発注に努めます。
--	---

(3) 施設管理について

ア 施設及び設備の維持保全及び管理、公園管理

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化の実施 ・保守点検、備品管理、環境維持の実施 ●備品の物品管理簿での管理、年度末の棚卸の実施等による適切な管理 ●消耗品の適切な管理・購入による経費節減と発注事務の軽減 ●大佛次郎遺品類及び関係資料の適切な管理(日常的な確認・点検の実施) ●施設設備の不具合早期発見のための自主点検の実施 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■施設運営に支障がでないように管理します。 ■館建設から40年が経過し、建物、設備に劣化が進んでいるので、必要な修繕を実施するように調整します。 ■必要に応じ市と協議を行います。 <input type="checkbox"/>物品管理簿と現品との照合による棚卸(年1回) ■在庫管理に努めます。 <input type="checkbox"/>毎日2回の点検、記録、調整の実施 ■特別書庫内使用の出入庫表への記録 <input type="checkbox"/>年1回の燻蒸 <input type="checkbox"/>月1回の資料整理 ■必要な資料の修復の実施 <input type="checkbox"/>不具合早期発見のため自主点検を実施します。(月1回) ■自主点検した内容を財団事務局と情報を共有
--	--

<ul style="list-style-type: none"> ・適切な環境維持管理業務の実施 ●業務の基準の遵守及び見回りによる清掃の即時対応の実施 ●公園の管理区域内の維持、公園管理者との連携調整 	<p>します。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ゴミ、汚れ除去の点検(毎日1回) □管理区域内の植栽剪定作業委託による維持管理(年1回)
--	--

イ 小破修繕の着実な実行

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小破修繕の取組 (日常点検で把握した故障等への都度対応による修繕費等の支出抑制、財団のサポートによる効果的・効率的な修繕の実施) 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■随時実施 □不具合早期発見のため自主点検を実施します。月1回(再掲) ■修繕等の実施に際しては横浜市と情報共有し、迅速な対応につとめます。
---	--

ウ 事故予防及び緊急時の対応

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故防止体制・防犯、緊急時の対応・感染症等衛生管理の実施 ●全体管理について ●危機管理マニュアルの整備と必要に応じた改訂 ●職員及びカルチャースタッフによる館内の見回り・点検の実施 ●インフルエンザ流行時のポスター掲示、鳥インフルエンザへの留意、ノロウイルス対応の準備と2次感染防止策の徹底 ●緊急時の連絡体制 (財団事務職員の必要に応じた応援依頼や、緊急連絡網の作成と緊急時の速やかな報告・相談の実施) ●AED設置及び研修 (消耗品等の定期的な更新・交換、財団主催の操作研修への全員参加) 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■施設運営に支障がでないように管理します。 ■より実地に沿ったマニュアルに改定します。 □館内巡回 1日4回 ■周知ポスターの掲示をします。 ■人員変更ごとに改定します。 ■スタッフ全員が使用できるように研修未受講者がいないようにします。
--	--

エ 防災に対する取組

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の取組、危機管理マニュアルの整備、防火・防災の取組、災害備蓄等の実施 ● 危機管理マニュアルの適宜見直し及び改訂 ● 避難訓練 (自衛消防組織の結成、防災計画の作成、危機管理マニュアルに基づく年2回の避難訓練の実施) ● 緊急事態に備えた飲料水、非常食、毛布等の備蓄 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ より実地に沿ったマニュアルに改定します。 □ 防災訓練 年2回 ■ 在庫管理を徹底します。
--	---

5 収支について

ア 適切な収支構造及び収支バランス

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 適切な収支構造及び収支バランス 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 優先順位を見極め、緊急度の高いもの、必要性の高いものから執行を検討し、提案した収支表に準じ、適切な収支管理を行います。
---	---

イ 指定管理料のみに依存しない収入構造の検討

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理料のみに依存しない収入確保の取組 ● 利用料金収入の確保 (有料入館者数増に向けた取組の実施) ● おさらぎ選書への広告掲載、企画展の協賛依頼、 ● ショップ売上目標の設定 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「大佛次郎×ねこ写真展 2019」を、テーマ展示と同時に開催することで、新たな入館者層を開拓します。 □ 広告掲載4社 □ ショップ売上目標：1,700,000円
---	---

ウ 経費削減及び効率的運営努力

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経費節減等効果的運営の努力 ● 発注、事務処理上の留意点 (契約にかかる経費削減、支払い時の事務処理時間及び振込手数料の削減、計画的な発送処理による作業時間及び郵送経費の削減、廃棄物の削減) ● 施設、設備管理運営上の留意点 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 在庫管理を徹底します。 □ 管理費の多くを占めている光熱水費を節約す
--	---

<p>(早期対応による設備の長寿命化の実現と修繕費の節制、省エネルギーのための取組と光熱水費の節減)</p> <p>●コスト意識 (職員の超過勤務削減、業務分担の平準化、業務の外注化等の促進、効率的で適切な勤務体制の実施)</p>	<p>ることで、コストの削減につなげます。 電気・水道使用量 前年度比マイナス</p> <p>■下半期から経費執行の情報共有を館内職員で 図り、弾力的な運用を行います。</p> <p>■必要のない電気・水道の利用を減らすよう、 声がけを行います。</p>
---	---

6 PDCAサイクルの確実な運用

ア 日報及び月間事業報告書の作成・管理について

<p>[取組内容]</p> <p>●日報、月間事業報告書の作成と管理</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に則り適切に対応します。</p>
--	---

イ 業務計画書及び業務報告書の作成・管理について

<p>[取組内容]</p> <p>●業務計画書、業務報告書の作成と管理</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に則り適切に対応します。</p>
---	---

ウー1 業務評価（モニタリングの実施）について

<p>[取組内容]</p> <p>●モニタリングの実施による業務評価</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に則り適切に対応します。</p>
--	---

ウー2 業務評価（自己評価の実施）について

<p>[取組内容]</p> <p>●自己評価の実施による業務評価</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に則り適切に対応します。</p>
--------------------------------------	---

ウー3 業務評価（第三者による評価の実施）について

<p>[取組内容]</p> <p>●第三者評価の実施による業務評価 ※該当年度のみ対象</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■平成30年度の第三者評価の実施に向け、事業の案内を市を通じてお知らせし、視察対応をします。</p>
---	---

7 その他について

ア 保険及び損害賠償の取り扱いについて

<p>[取組内容]</p> <p>●保険の加入と損害賠償への対応</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■対人1億円の保険金額の施設賠償等保険に加入します。</p> <p>■ショップ取扱商品の安全向上のためにPL保険に加入します。</p>
--------------------------------------	--

イ 関係法令の順守

[取組内容] ●関係法令の順守	[達成指標] □コンプライアンス事故ゼロの達成
--------------------	----------------------------

ウ 市及び関係機関等との連絡調整

[取組内容] ●市及び関係機関等との連絡調整	[達成指標] ■モニタリングや、必要に応じた相互連絡により情報共有を行います。
---------------------------	--

平成30年度 大佛次郎記念館 事業一覧

No.	実施時期	主催・共催・協力等	事業名	会場	事業内容	入場者・参加者数 見込み(人)	実施回数
1	通年	主催	作品収集活用	-	所蔵品(既存の所蔵物の他、新たな寄贈物、購入物などを含む)の収集・管理。レファレンス等。	-	-
2	通年	主催	収蔵資料の保存・補修	-	旧蔵品等の大切な資料を後世に残すために、補修等を行います。	-	-
3	通年	主催	常設展(収蔵品展)	2階展示室	「大佛次郎の生涯と作品」にスポットを当てた収蔵品展を展示室で実施します。	テーマ展示に含む	1
4	通年	主催	愛蔵品展示	記念室内及び記念室前展示コーナー	大佛次郎の交友関係に焦点をあて、関係する旧蔵資料等を変蔵品展として記念室前展示コーナーで展示します。	テーマ展示に含む	1
5	通年	主催	所蔵品データベース化	-	大佛次郎記念館ホームページに掲載する、所蔵品オープンデータの追加	-	1
6	6月	主催	収蔵品特別公開	和室	収蔵品(日本画等)を和室にて特別公開	テーマ展示に含む	1
7	4月-7月	主催	テーマ展示Ⅰ 大佛次郎記念館開館40周年記念 「大佛次郎記念館の40年 1978-2018」	2階ギャラリー	大佛次郎記念館開館40周年を記念し、大佛次郎の著作と生涯、そして記念館の開館までを振り返り、記念館の歴史を紹介します。	6,200	1
8	7月-11月	主催	テーマ展示Ⅱ 大佛次郎記念館開館40周年記念 「大佛次郎とスポーツ」	2階ギャラリー	2019年ラグビーW杯、2020年東京オリンピックを目前に、野球・ヨット・テニス・スキー・ゴルフなど、若き頃から晩年に至るまで大佛次郎が愛した、さまざまなスポーツに焦点をあてます。	5,400	1
9	11月-3月	主催	テーマ展示Ⅲ 大佛次郎記念館開館40周年記念・明治150年記念 「天皇の世紀」—取材旅行が語るもの(仮)	2階ギャラリー	明治150年、「天皇の世紀」50周年を記念し、大佛次郎が訪れた取材旅行での足取りをたどりつつ、大佛次郎の歴史の見方、紡ぎ方にせまります。	4,900	1
10	11月	主催	「おさらぎ選書」の刊行	-	「大佛次郎『天皇の世紀』再考」と題し、論文「大佛次郎『天皇の世紀』を読む(仮)」「大佛次郎の『天皇の世紀』取材旅行(仮)」、及び「『天皇の世紀』取材旅行の旅(仮)」等を掲載します。	-	1
11	9月	主催	大佛次郎文学散歩	山手周辺(予定)	テーマ展Ⅱ関連事業:「大佛次郎とスポーツ」をテーマにした内容で実施	20	1
12	3月	主催	大佛次郎賞受賞記念講演会	横浜市開港記念会館講堂	朝日新聞主催の大佛次郎賞受賞作家による講演会。朝日新聞社共催	240	1
13	9月	主催	財団他施設との連携事業	全館	記念館内でサロンコンサートを実施します。	35	1
14	5月・11月	共催	大佛次郎研究会 公開発表会	神奈川近代文学館	大佛次郎研究会に対し、年2回開催される研究会公開発表会を共催し、活動を支援します。	-	2
15	3-4月、11-12月	主催	和室公開	和室	春の桜、晩秋の紅葉の時期のうち、貸館としての利用の入っていない日に限って、和室を公開し、来館者に窓から眺められる景色を楽しんでいただきます。	-	2
16	5月	主催	開館40周年記念 3日間無料デー	全館	開館記念日の5月1日(火)から3日間を無料入館デーとし、来館者の皆さま方と開館40年をお祝いします。	-	1
17	4月、10月	協力等	大佛茶亭公開	大佛茶亭(鎌倉)	鎌倉風致保存会主催の鎌倉市雪ノ下にある「大佛茶亭」の公開に合わせて、書籍、グッズ販売等を行います。	-	2
18	12月	主催	小学生ミニ・ピリオパトル	2階サロン	小学4~6年生を対象にした、本の紹介パトル。本を通じた子ども達同士の交流、地域との交流を目指す。本好きだった大佛次郎のスピリットも伝えます。	-	1
19	8月	主催	夏休み子どもアドベンチャー	館内	感想画展、館内クイズラリーなど、小中学生無料化に伴い、親子での来館を促す企画	28	1
20	8月	協力等	ミュージアム・ミッション2018	館内	神奈川県博物館協会主催のミュージアム連携事業に参加。子どもの来館を促します。	300	1
21	2-4月	主催	大佛次郎×ねこ写真展2019	会議室、和室、閲覧室等	大佛次郎の愛した猫を切り口にした写真展。公募作品も多数展示。	3500 (テーマ展に含む)	1
22	10月、2月	共催	山手西洋館連携事業 ①山手西洋館ハロウィンウォーク ②横浜山手芸術祭「西洋館ユースギャラリー」	①記念館敷地内 ②会議室	10月末の山手西洋館ハロウィンウォークに館として参加し、賑わいを創出します。2月には横浜山手芸術祭に協力参加し、小学生の作品展示を実施します。	-	2
23	通年	主催	ホームページの充実・運用	-	施設についての魅力を伝えるツールとしてさらに充実させていきます。	-	-
24	通年	主催	「大佛次郎記念館活性化プロジェクト」継承事業	全館	ボンバドゥルに、冬季限定「バンピコンキョールのごほうびサバラン」の販売を、ティールーム霧笛に、夏季限定で大佛フラッペの販売継続を依頼します。	-	-
25	6月	6月	横浜フランス月間への参加	2階展示室	1930年代フランス映画関連の雑誌の展示を開催	テーマ展示に含む	1

平成30年度 「大佛次郎記念館」 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	説明
指定管理料	50,692,000	横浜市より
利用料金収入	700,000	和室会議室利用
自主事業収入	2,470,000	観覧料、事業収入
雑入	2,924,000	
原版貸出、複写、協賛金等	154,000	その他事業収入、協賛金
ティールーム設備料	1,070,000	ティールーム設備料
その他(ショップ収入)	1,700,000	ショップ売上
収入合計	56,786,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	説明
人件費	38,127,000	
給与・賃金	31,045,000	
社会保険料	4,440,000	
通勤手当	1,169,000	
健康診断費	56,000	
勤労者福祉共済掛金	0	
退職給付引当金繰入額	1,417,000	
事務費	3,095,000	
旅費	70,000	業務出張費
消耗品費	800,000	事務用品、衛生用品等
会議賄い費	0	
印刷製本費	200,000	広告宣伝費含む
通信費	120,000	電話等使用料
使用料及び賃借料	1,118,000	
横浜市への支払分	968,000	目的外使用料
その他	150,000	コピー複合機等
備品購入費	200,000	貸出用椅子等
図書購入費	150,000	辞典等
施設賠償責任保険	300,000	対人障害1億円等
職員等研修費	0	
振込手数料	100,000	銀行振込
リース料	0	
手数料	0	
地域協力費	37,000	博物館協会、文学館協会会費
事業費	2,737,000	
自主事業費	2,737,000	展示、講演会実施、ショップ仕入れ等
管理費	6,752,000	
光熱水費	1,400,000	
電気料金	1,220,000	
ガス料金	0	
水道料金	180,000	
清掃費	2,140,000	館内、外の日常清掃および特別清掃
修繕費	552,000	雨漏り修繕等、小破修繕
機械警備費	750,000	火災通報及び閉館中の警備
設備保全費	1,910,000	
空調衛生設備保守	420,000	空調機器点検
消防設備保守	300,000	消防設備点検
電気設備保守	150,000	電気設備点検
害虫駆除清掃保守	300,000	館内昆虫生息調査及び防塵防黴業務
駐車場設備保全費	0	
その他保全費	740,000	生け花装飾、植木管理等
共益費	0	
公租公課	2,269,000	
事業所税	0	
消費税	2,259,000	実績による積算値
印紙税	10,000	
その他()	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	3,806,000	
本部分	3,806,000	(前年度事業費-繰入金) × 7%
当該施設分	0	
支出合計	56,786,000	
差引	0	